
— CONTENTS —

- ◆原子力人材育成ネットワーク報告会を開催
 - ◆IAEA TTWS 2019 JPN を開催
 - ◆IAEA Expert Mission(Strengthening Networks for Human Resource and Knowledge Development)を受入れ
 - ◆合同企業説明会『PAI 原子力産業セミナー2020』(Presentations by Atomic Industry) を開催
 - ◆IAEA ヘイワード事務次長の講演会を開催
 - ◆第2回「原子力人材育成ネットワーク」運営委員会
-

◆原子力人材育成ネットワーク報告会を開催

平成31年2月15日(金) AP 虎ノ門(東京都港区)において、平成30年度原子力人材育成ネットワーク報告会を開催しました。日本の産官学の各界から約60名の参加がありました。冒頭、高橋明男・ネットワーク運営委員会委員長は、原子力人材育成ネットワークが活動を開始してから9年が経過し、今後事務局機能を強化するために戦略WGを立ち上げることを伝え、ネットワーク活動への更なる積極的な協力・参画をよびかけました。

報告会では、ネットワークの活動状況について情報共有を行うとともに、戦略WG設立に向けた活動についての報告、原子力規制委員会から規制人材の育成についての講演がなされました。午後は、原子力人材のグローバル化、国際機関での活躍に関して、東京工業大学尾本特任教授、量子科学技術研究開発機構近藤氏などから講演をいただきました。当日の発表資料は、<https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/backno03.php#h>に掲載しています。

◆IAEA TTWS 2019 JPN を開催

IAEA RAS0075-Technical Cooperation Programme (Regional Training Course for Teachers to Introduce Nuclear Science in Secondary through Innovative Approaches)の活動の一環として、IAEA Train Trainers Workshop (TTWS) 2019 Japan を実施しました。

東京大学環境安全本部 飯本教授の主導により、2月18日～3月1日まで、12か国16名の国外からの研修生とIAEA(専門家含む)4名は、主に東京大学及びJAEA 東海本部において12名の講師から講義を受けました。基礎講習に加え、多くの実習を組み込み、研修生は真剣ながらも楽しい日々を過ごしました。

また、施設見学は、JAEAのJ-PARC、JRR-3及びNUCEF(STACY&TRACY)と、東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所を見学しました。

IAEA TTWS は、2021 年の RAS0075 最終報告会を日本で開催することが決定しています。

◆IAEA Expert Mission(Strengthening Networks for Human Resource and Knowledge Development)を受入れ

平成 31 年 2 月 25 日から 3 月 1 日にかけて、IAEA の原子力エネルギー部知識管理課が進める原子力人材育成国内ネットワーク構築プロジェクトの一環として、日本への「ステークホルダーネットワークの強化の専門家派遣」が行われ、ネットワークがこの受入れを担当しました。本ミッションは IAEA が、トルコ、マレーシア、南ア、インドネシア、ポーランドより 1 名ずつ招へいして行われ、招へい各国と日本の人材育成状況の情報交換に加えて、日本の電力会社、原子力研究所、地方行政、国の進める原子力理解活動関係者との意見交換を行いました。

今後、プロジェクトの成果として、各国のネットワーク構築事例を、IAEA のデジタルハブ上に公開するとともに、2020 年度にネットワーク構築の方法論に関する技術会合を、さらに 2021 年に国内ネットワーク構築に関する大会が開催される予定です。

◆合同企業説明会『PAI 原子力産業セミナー2020』（Presentations by Atomic Industry）を開催

原産協会と関西原子力懇談会は、2020 年卒の大学生、大学院生、高専生を主な対象に（今回より留学生と第二新卒も対象）、13 回目となる合同企業説明会「PAI 原子力産業セミナー 2020」を開催しました。このセミナーは、学生と原子力産業に関わる企業、機関の就職・採用活動支援、また、原子力産業への理解促進、情報提供を目的としているもので、3 月 3 日(日)には東京 秋葉原UDXビル「AKIBA SQUARE」、また 3 月 6 日(水)には大阪 梅田スカイビル「ステラホール」の二箇所で開催しました。

出展企業は、東京 46 ブース、大阪 34 ブース、計 80 ブースと過去最高となりました。来場学生は東京 213 名、大阪 126 名、合計 339 名で前年のセミナーより 44 人の減少となりましたが、両会場ともに、原子力を専攻する学生の他、文系を含む様々な学科の学生の来場がありました。参加学生からは「原子力に関する幅広い企業の話聞いてよかった」「本セミナーに参加しなければ分からない企業や知ることのできなかつた企業もあり、大変充実していた」等の意見が多く、東京、大阪ともに開始から終了時間まで各ブースで企業担当者の説明を熱心に聞く姿が見られました。

原産協会では来年度も引き続き、原子力産業界の人材確保支援に取り組んでいきます。

◆IAEA ヘイワード事務次長の講演会を開催

原子力人材育成ネットワークでは、2019 年 1 月 23 日（水）、国際原子力機関（IAEA）事務次長（管理局担当）マリー アリス ヘイワード氏の講演会を東京で開催しました。日本原子力産業協会、外務省が共催しました。

原子力分野において国際協力やグローバル化に対応した人材育成は急務であり、日本にとりIAEAとの協力関係の強化はますます重要になっています。このため、国内関係機関においてIAEAについて理解を深めていただく目的で、ハイワード事務次長より「IAEAの紹介と機会、そして、原子力の展望」と題する講演をいただきました。

ハイワード氏は講演で、「我々の仕事は、『平和と開発のための原子力』という包括的な哲学に基づいており、原子力には世界をより安全に、より少ない危険で、より繁栄させる力があると信じている」と、IAEAの理念について語りました。現在、IAEAの加盟国は170で、100以上の国から2,500人以上の職員が原子力科学技術応用、原子力安全・核セキュリティ、保障措置・検証等の仕事に携わっています。IAEAでは職員採用にあたりジェンダーバランスを重視していること、若手世代の活躍や学生インターンシップに力を入れていることが紹介されました。そして、拠出金額世界第2位の日本からはIAEAで働く職員をもっと多く派遣し、日本の原子力の経験をIAEAで活かしてほしいとの事務局長のメッセージが伝えられました。

講演会にはNW関係者等約40名が参加し、IAEAで働きたい人に求められる資質や手続き等についても質問していました

講演会概要は次のサイトをご覧ください。

https://www.jaif.or.jp/cms_admin/wp-content/uploads/2019/02/iaea_ddg_summary.pdf

◆第2回「原子力人材育成ネットワーク」運営委員会

平成31年3月27日（水）原産協会（東京都）にて、平成30年度第2回運営委員会を開催しました。今年度の総まとめとなる本委員会では、ネットワーク事務局及び5つの分科会の今年度の活動報告や戦略WG設置にむけた準備状況についての報告のほか、関係府省の原子力人材育成活動/政策を紹介しました。

◆◆◆=====◆◆◆

JN-HRD.NET ニュースレター（2019年3月）

【発行者】原子力人材育成ネットワーク事務局

【連絡先】jn-hrd.net@jaea.go.jp

【過去の記事】<https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/latest.php>

=====◆◆◆